

2007年12月21日

報道関係各位

東京急行電鉄株式会社

客室ドアの誤開扉事故について

昨日、弊社大井町線において下記の事故が発生いたしました。ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。

記

事故内容	誤開扉により、客室ドアが開閉する間に約1m列車が動きました。
発生日時	2007年12月20日(木)22時12分頃
発生場所	大井町線緑が丘駅上りホーム 所在地：目黒区緑が丘3-1-12
発生列車	大井町線二子玉川発大井町行各駅停車(5両編成)
状況	(1)緑が丘駅で上記列車を出発させるため、車掌はホーム側ドアが閉まったことを確認し、運転士に出発合図を送りましたが、ホーム上のお客さまがドアに両手をつくように近づいてきたため、開扉操作を行いました。 (2)運転士は既に列車を発車させる操作を行っており、直ちに非常ブレーキをかけました。同時に車掌はドアを閉めましたが、ホーム側の全てのドアが開閉する間に約1m列車が動き、停車しました。 (3)再度、安全確認を行い、異常がなかったことから、列車を出発させました。なお、けがをされたお客さまはいらっしゃいません。
発生事由	車掌が運転士に対して出発合図を送った後にドアを開ける場合は、本来、先に非常ブレーキをかけた上で開扉操作を行うべきでしたが、非常ブレーキをかけずに開扉操作を行いました。
対策	従業員に対し正則作業を徹底するとともに、再教育を実施いたします。

以上